

なのはな

NPO法人 なのはな
◇あおぞらキンダーガーデン
◇まほろば
◇わとと・あおぞら
〒420-0961 静岡市葵区北226-1
TEL/FAX 054-246-2213
E-Mail : aozora@shizuoka.tnc.ne.jp
npo-mahoroba@uv.tnc.ne.jp
URL : <http://www4.tokai.or.jp/nanohana/>

雨降りの季節・・・

晴れが大好きな大人には、ちょっと元気がでないかもしれませんが、子どもにとっては、晴れも雨もお友達。カエルもかたつむりも顔を出し、何ととっても水たまりに入ったり、樋から流れる水の下で傘をさすと雨が傘から流れてそれはそれは面白い・・・などなど雨の日ならでのお散歩を楽しむ子どもの笑顔が素敵です。

子どもを育てる仕事は1人では、できません。

それは、個人的な心持ちの問題ではなく、「ヒトは、共同体の中で人間になる動物」だからです。言い換えると「共感性」という繋がりが豊かにある社会が人間になるには、必要なのです。

児童精神科医の佐々木正美先生は講演で

「1, 2ヶ月のあかちゃんに笑顔を与えると返ってくる微笑みの交換は、強い共感性であり4~5カ月になると人と喜びを分かち合う人間的コミュニケーションが誕生する」と言われ「小さい時から沢山の喜びを分かち合う経験は、人間の土台である共感性を育て、自己肯定感の形成にもつながる」と話されています。

雨だからではなく雨だからこそ楽しい事もたくさんある6月。

子ども達の「おもしろいねー」「たのしいねー」を育てるためにも、沢山のお洗濯よろしくお願ひしますね！！

(おか)

あおぞらの保育5 ～食事～

哺乳が終わったら自分で食べ物をとって食事する動物とは違い、人間の子どもの人間らしく生きていく食事の仕方や食品との出会いは、0歳からの家庭との密接な連携が無いと出来ないと考えています。

その上で、食品は、安全で添加物や着色料が少ない安心なもの。薄味で食品の持つ味を大切にして季節の食品を多く使った給献立に心がけています。作る過程で出る匂いは、子どもの食欲を促し作り手が見える手作り給食は、作り手の心を乗せる事が出来、園内で作る給食を大事にしています。(アトピーの子ども達には、できる範囲で対応しています) 子ども達の好き嫌いは、離乳食や食事スタイルとも関係しています。味覚は一生発達すると言われています。保育の中では、おいしく食べている姿を見たり、少しでも食品の味を知る機会を持つ事、なかまの関係の中で(食べてみよう)という心を育てています。(異文化の食品に出会っても食べてみようの心があつたら世界につながり楽しいですね)

あおぞらだより

5月、服織中学の2年生4人が職場体験実習に来てくれました。毎年あおぞらは、学生の体験学習を受け入れています。

今回は、卒園生が1人もいなかったこともあり、学生さんも園が始めてで緊張感があり、ちょっと心配していたのですが、子ども達のパワーでしょうか？最終日には、どの子もステキな笑顔で元気一杯子ども達とあそぶ姿を見せていってくれました。

下記の文章は、そんな子ども達からいただいた感想です。（今回は、同じクラスにそれぞれ3日間入りました）

*1, 2歳児

るるんさん、ほしさんから元気をもらえました。言葉が通じない（伝わらない）ことが多くて、難しかった。私が『だめだよ』って言ったら先生は「大事・大事」って、優しい言葉で伝えていた。

*3歳児

保育士の仕事って思ったより大変だった。質問されて答えてもその言葉を子ども達は、知らなかったり日本語が通じないっていうか……。ケンカの仲裁では、その子その子の気持ちを先生たちは、しっかり受けとめていた。

*4歳児

「おしりみせて～」とか言われて困っちゃったけど、子ども達が体当たりでぶつかってきてくれて嬉しかった。子ども達が一気に来ても先生達は、丁寧に対応していてすごいな～と思いました。

*5歳児

1番大きい子ども達だから人見知りされちゃうかな～と思って心配してたけど、そんなことなく来てくれて、甘えてくれて嬉しかった。集まったりはなしたりするときも、バラバラになっちゃう男の子達に『今は～だから～は出来ないんだよ』としっかり理由を伝えて呼んでいて、その子達もその言葉を聞いて戻って来ている様だった。

たった三日間だったけど、小さい子ども達のこと、仕事のこと、彼女達なりに学んで、感じてくれたようです。帰りには子ども達と別れを惜んでいる彼女達の姿がとても印象的でした。

(ゆう)

まほろばの部屋から

発達段階・発達課題を考えると…①

学生の頃、発達段階について勉強した時に、どうも腑に落ちなかった。

発達に段階があって、質が違うこと、その時期ごとに課題があるというのは解る。だけど、課題が達成できない時のことがよく解らなかつた。その時期に課題達成してないまま大きくなった場合には、「固着」とか「停滞」とか「退行」とか言葉がくっついていて、“ダメ”って言われてる気がして、どうしても納得できなかった。

先生や先輩たちから「ダメなわけではない。その課題を残したままということ。」と説明され…。

ま、「残したまま」って考えると、「今からでもやればいいんだ」と思えて、何となく納得。そして、これは“理論だから”いろんなパターンを集めての平均なんだよなと思って、いいことにした。

人は、みんな違うんだから、みんなキレイに発達していくわけではなくて、その人のペースや、進んで行き方があるに決まっている。なのに、どうもある法則とか、指標みたいなのがあると、それと同じように行くのが当然と思ってしまう。

発達論者はそういうことを言いたい訳じゃないと分かって、やっと発達段階や発達課題の本来の意図する部分を覗くことができるようになった。…②に続く。

<ハル>

わとと・あおぞら

先日、常葉学園短期大学保育専攻科の学生さん遊びに来てくれました。手遊び、わらべうたあそびや絵本を読んだり子どものしているあそびに寄り添いながら短い時間でしたが、ママ達とも言葉を交わし、子どもの思いを感じよう受けとめようとやさしい笑顔いっぱい接してくれました。そして

学生さんより～

『お母さん達もゆったり子どもの話をしたり遊ぶ姿をほのぼの笑顔で見ている、この空間の居心地のよさがその表情からにじみ出ているのが分かりました。私も、お母さん達のつながりを橋渡ししていける子育てひろばを作りたいな』

と言う嬉しいおたよりもいただきました。

本当にこれからも「ゆったり・のんびりほっと出来る」わととであり続けたいです。

是非、みなさんあそびに来てね。

(かよ)

友達と見る絵本



「うしろにいるのは だあれ」 まつい のりこ さく

童心社

大きな木や葉っぱ… その後ろにかくれんぼしている動物さん。
葉っぱやお家の陰からちょっぴり見える 耳や鼻…

保育者 「大きな木。うしろにいるのはだあれ」 と読むと、
子ども達「とりさーん。とりさんだよ」

保育者 「とり ぴ ぴ ぴ ぴ ぴ ぴ」

子ども達は 鳥さんのマネっこ。 ぴ ぴ ぴ ぴ ぴ ぴ…

保育者 「とりさん みーつけた」

うしろにいるのはだあれ、という短い文章の繰り返しですが、かくれんぼしている動物・虫さんが次々出てくるよ。動物、虫さんみーつけた！！

かくれんぼあそびと似ているよ。お散歩に出かけると、「もーいーかーい。みーつけた！！」って、葉っぱの木の陰にかくれんぼして遊んでいるよ。 (いな)

赤い羽根あいがとうございました！！

わとと・あおぞらを会場に、二つの企画をしています。お友達などにも紹介してくださいね。



〇〇歳児のママ 集まれ～

同じ年齢の子どもたちがいるママたちとみんなでおしゃべりする場を作ります。

6/28(月) 1歳半～2歳

7/15(木) 歩き始め～1歳半

8/9(月) 乳児前半

9/9(木) 乳児後半と妊婦さん

後半は決まり次第お知らせします。

10/18(月) ・ 11/11(木)

12/27(月) ・ 1/13(木)

2/21(月) ・ 3/10(木)

ママたちの自分自身のおしゃべり会

お母さん自身がかかえている悩みを、ゆっくりとお話ませんか？自分自身のこと・夫婦のこと・家族のことなど、同じような悩みをもつ仲間とともに、おしゃべりしましょう。

5/24(月) 6/23(水)

7/12(月) 8/23(月)

9/8(水) 10/13(水)

11/8(月) 12/8(水)

1/12(水) 2/14(月)

3/14(月)

問い合わせ先：わとと・あおぞら 054-284-1320